



## IRP's Build Back Better 事例(2013年、2014年、フィリピン)

### 台風「ハイエン」の経験による早期避難行動

2015年8月10日

#### ☆台風「ハイエン」による被災概要☆

2013年11月8日、2013年最大の勢力をもつ台風30号(アジア名 Haiyan、現地名 Yolanda)がフィリピン中部を襲い、数百万人が避難を余儀なくされた。フィリピン政府によると、死者6,293人、負傷者28,689人、行方不明者1,061人、被災者数16,078,181人、全壊家屋550,928棟、一部損壊家屋589,404棟の甚大な被害を被りました。

これだけたくさんの方が避難を強いられているのは、強風により多くの家屋が被害を受けたことが影響しており、これは規模は巨大ですがフィリピンでこれまでも繰り返されてきたタイプの被害です。一方、人的被害はその多くが6-7mの高さに達した高潮によるものであり、これは今までのフィリピンでは少なかったタイプの被害であり、また台風の眼に入って風雨が弱まったことで、避難先から居住区に戻って高潮被害にあったケースもあったとされています。

#### ☆IRP's Build Back Better ポイント☆

フィリピンでは、2014年12月3日～8日、2014年台風22号「ハグピート」が、7,000人以上の死者・行方不明者を出した2013年11月の台風「ハイエン」と同じようなコースを辿り、Eastern Samar州に上陸し、同国中部を通過しました。死者18人、被災者902,291世帯/3,852,672人、負傷者916人、倒壊家屋39,384棟、一部損壊214,040棟の被害を出しましたが、台風「ハイエン」の時の教訓から、沿岸部の住民らは素早く避難指示に従ったと見られています。台風「ハイエン」において全国で約90万人が避難し、最も大きな被害を受けたレイテ島タクロバンでは今回の台風「ハグピート」の際、20万人が安全な場所へ避難しました。



#### 【写真】

東ビサヤの被災者向けの食糧を準備するタクロバンのボランティア

<http://www.gov.ph/2014/12/09/dswd-intensifies-food-distribution-for-ruby-survivors/>

#### ☆参照☆

アジア防災センター

[http://www.adrc.asia/view\\_disaster\\_jp.php?NationCode=608&lang=jp&KEY=1828](http://www.adrc.asia/view_disaster_jp.php?NationCode=608&lang=jp&KEY=1828)

デジタル台風 <http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/news/2013/TC1330/>

フィリピン政府

<http://www.gov.ph/2014/12/10/situation-report-on-typhoon-ruby-as-of-december-10-2014-600-a-m/>